

教会はキリストのからだであり、いっさいのものをいっさいのものによって満たす方の満ちておられるところです。

エペソ人への手紙一章二三節

2016(28)年 週 報

5月29日

「御霊に満たされなさい」

第5聖日

第3457号

聖
言

また、酒に酔ってはいけません。そこには放蕩があるからです。御霊に満たされなさい。エペソ 5:18

主の弟子となる⑥

第一課 福音のメッセージ
使徒の働き一〇章三四節から四八節の短い注解を読んで考えましょう。

その時、ペテロはコルネリオに何と言ったでしょうか。コルネリオが、イエス・キリストについてどうしても知らなければならなかった事は次のことでした。

・イエスは、神によってイスラエルに遣わされた。

・イエスは善いわざを広められた。

・ユダヤ人は、イエスを死に追いやったが、神はイエスをよみがえらせた。

・使徒たちは復活されたイエスに会い、イエスと共に食した。イエスは使徒たちに、このメッセージを宣べ伝えるように命じた。

・イエスは、生きている者と死んでいる者とを裁かれるお方であり、すべてイエスを信じる者は罪を赦される。これら全てのことは、旧約聖書の預言者によって預言されていた。(旧約聖書の中には、イエス・キリストの人格とわざとについて三百以上の預言がなされている)
(CIBTE主の弟子より)

イエス・キリスト聖成伝道教会・東洋聖書神学院・聖成基督教団

牧師 山本 稔 〒653-0812 兵庫県神戸市長田区長田町1丁目2番6号

電話：FAX (078) 691-1419 郵便口座番号 01170-3-20374

<http://jchec.org/>

minoru_yamamoto@hotmail.co.jp メール m7-inoru@ezweb.ne.jp

二〇一六年五月二二日午前一〇時 礼拝 山本牧師

「光の中を歩む」

「眠っている人よ。目をさませ。死者の中から起き上がれ。そうすれば、キリストが、あなたを照らされる。」(エペソ五ノ一四)

祈り

教会は靈的に眠りかけている時代は社会は墮落の極限にあります。死んだような信仰から目覚めるリバイバルが起きるようにしてください。

洗礼を受ける人は首記の御言葉を歌っていた。わたしたちは、夜や暗やみのものではありません。ですからほかの人々のように眠っていないで、目をさまして、慎み深くいきましょう。眠る者は夜眠り、酔うものは夜酔うからです。しかし、私たちは昼の者なので、信仰と愛を胸当てにとして着け、救いの望みをかぶるとしてかぶって、慎み深くしていきましょう。」(一テサロニケ五ノ五〜八) 「あなたがたはいまどのようなときか知っているのですから、このように行いなさい。あなたがたが眠りからさめるべき時刻がもうきています。というのは、私たちが信じたころよりも、今は救いが私たちにもっと近づいているからです。夜はふけて、昼が近づきました。ですから、私たちは、やみのわざを打ち捨てて、光の武器を着ようではありませんか。」(ローマー一三ノ一)。

光と闇、光は暗やみを照らす。悪い所を光により、明らかにする。光が照らなければいつもでも暗やみは暗やみのままで、次第に暗やみが成長して死にいたらせる。それで、初期発見を勧めている。これは肉体の問題であるが、実を結ばない暗やみのわざを靈的な光をてらされて、明るみに引き出さねばならない。だからこう言っています。眠っている者よ。起きなさい。これ

は肉体的なことより靈的な眠りです。アウグスチヌスはこの御言葉により回心しました。かれはマニ教を信じ、年配の女性と同棲をして子どもまでこしらえました。そこから目をさまされたのです。そして、アフリカのアレキサンドリヤにおいてキリスト教をひろめたのです。今は昼のときです。眠りから覚めるときです。

二〇一六年五月二五日午後七時 祈祷会 山本牧師

「悔い改めが生きる道エ(ダニエル連講第二一回)

「主よ。不面目は、あなたに罪を犯した私たちと私たちの王たち、首長たち、および先祖たちのものです。あわれみと赦しは、私たちの神、主のものです。これは私たちが神にそむいたからです。私たちは、私たちの神、主の御声に聞き従わず、神がそのしもべである預言者たちによつて私たちに下さった律法に従って歩みませんでした。」(ダニエル九ノ八〜一〇)

イスラエルの民が神より見放された。しかし、ダニエルはとりなしをして、悔い改めの祈りをした。多くの民が神に背いている。しかし、イスラエルは特別にエルサレムを与えられ、神殿において礼拝をささげることゆゑに与えられたのである。それにもかかわらず、神から離れたとするなら、その責任は大きいといわざるを得ない。

本部分月行事計画

三日(金) 楽しい祈りの集い 午後一時

五日(日) 四五周パラダイス礼拝 午前一〇時

礼 拝 「神様の間では千年は一日」 Ⅱペテロ三ノ八

記念会 「我慢強いダビデ」詩篇二三ノ四

説教者 山本牧師

六日(月) 教団牧師会 午前一〇時

一二日(日) 役員会 礼拝後

一九日(日) オープン礼拝 午前一〇時

神戸フレデルフイヤ教会協力牧師 大嶋善直先生

二四日(金) 大日丘集会 午後五時

二七日(月) 説教塾 午前十一時 神港教会

会計役員 庄司姉 櫛原姉 山本師 補助 石橋姉

六月召天会員

一日西田照雄先生六周 二日小段マツヨ姉五四周 三日中小路

きく姉四七周 四日山川静枝姉 八八周年 五日西川スエ姉七

〇周 宇田川恭子姉五一周 梶原要兄二六周 天春須磨子一六

周年 一〇日佐野かめ姉 七七周 後藤キミ姉六五周年 十一

日魚住キヨ姉二六周 西村すず子先生四周 十二日北良博兄二

四周 十三日北田幸民兄一〇五周 十四日小段次吉兄三九周

十五日森寛隆兄九三周 十八日紺本きく姉八五周 二五日石橋

庸兄三六周年 二六日内海咲子姉一四周 二七日紺本栄子姉八

二周 二七日山村留太郎兄五五周 藤井春信兄二七周年

記憶の声

水間敦隆

ひよどり越えの

濃い緑の薫る聖道が

光につつまれ

集う人々を

尖塔より

親しい声が出迎えます

中天に両手をかざし

青に染まる牧師が

我らの国籍は天に在り

と、

みこころを賛美する

慰霊堂の

扉を開く白い静寂に

長く 語り合う時

そこに愛しい

顔 顔 顔

初夏の笑顔と声が

和み合う